

白髭神社 三浦市三崎町小網代 1516

この社は小網代湾が昔から廻船寄港地、また三崎の避難港として全国的に知られていた関係上、「航海安全」「大漁満足」の神として古から崇拝されていて三浦七福神の寿老人を祀っている。創建は天文年間（1532～1535）、御祭神は中筒男命（なかつつおのみこと）で当村の漁夫の夜網にかかった霊光、こうこうたる束帯姿のご神体を御祀りしたと伝えられ、現在の社殿は三浦道寸義同が改修したと伝えられている。社殿の左手にある石は鳴石、別名「カンカン石」と呼ばれ、打てば「カンカン」と金属製の音がして、昔の石錨で船頭が社に奉納。



説明版



鳥居



手水者が貝(ホタテ?)



お参りする人は少なかった



カンカン石



海にはヨットが並んで、その奥に富士山が見える